

人権に関する 作文発表 (北部中学校)



コミわかでは人権教育・啓発活動として、小中学校の児童・生徒の皆さんに人権に関する作文を寄稿していただいています。今回は北部中学校生徒さんの作文をご紹介します。紙面の都合上2回に分けて掲載いたします。この機会にご家庭内で人権について話し合ってみてはいかがでしょうか。

(人権教育部会)

私たちの生活と人権

北部中学校 O.Aさん

私がこの作文で自分の考えを書いているのも、皆さんが私の作文を読んでいただいているのも、もっと言えば、今こうして私が生きていることすら、全て日本国憲法で基本的人権が保障されているから、と言っても過言ではないと思います。憲法には、表現の自由、出版の自由、そして生存権などが、全ての国民に保障されているからです。だからこうして、自由に思い、書けるのです。

憲法14条では、国民全員が差別されないという平等権が保障されています。しかし現代社会には、未だに部落差別、人種・民族による差別、性差別などがあります。更に最近では「ヘイトスピーチ」と呼ばれる特に外国人の人に対する深刻な差別問題もみられます。そもそも国や地域によって文化や生活が違うのは当たり前のことです。違う人を排除するのではなく、逆にその違いを受け入れて、お互いの文化などを尊重しあい、共存していける社会になって欲しいと切に願います。

どんな考えやどんな理由があったとしても、差別は絶対に許されません。それは道徳的に良くないとか、道徳的にしてはいけないとか言うことではありません。差別が許されないのは、国民誰しにも保障されている「憲法上の国民の権利」を踏みにじっているからだ、私は思います。だから人間としての尊厳を傷つける差別は絶対にしてはいけないし、許してはいけないのだと思うのです。

平和で差別のない社会を創るために、一人一人が自分の権利を大切に、同時に相手の人権を尊重する、そんなことを大切にしたいと思っています。

星野ルネさんから学んだ自分らしさとは

北部中学校 K.Yさん

みなさんは自分らしさを大切にできていますか。

先日北部中では、マンガ家でアフリカのカメルーン生まれの星野ルネさんの講演会があり、自分らしさについて考え直すきっかけになりました。最初私は、自分が思っている意見が言えず友達の意見に流されることがたくさんありました。例えば、髪型や外見です。ですが、星野ルネさんは「人それぞれいろんな価値観があり個性もあるということ、そしてお互いを認めあうことが大切だ」と言っていました。このお話を聞いて、友達の意見や個性を否定せずにお互いを認めあうことが必要だと感じました。

他にも講演会の中で、「違うところだけでなく共通点を探すこと」が大事だと感じました。国によって文化や宗教が違い、感じていることや考えていることも違うと思います。共通点を探し見つけることで、少しでもお互いの理解を深めることができるのではないかと思います。

最後に星野ルネさんの講演会を通して、人それぞれの個性とお互いを認めあうことが一番大切だと感じました。いじめを減らすためには、いじめる側といじめられる側の気持ちを一緒に考えることが必要だと思います。相手の気持ちを尊重し、私自身も自分らしさを出せるように努力していきたいと思っています。